

やまと通信

やまと石材がお届けする、手作り新聞

vol.196
2022.8

〔特集〕 ご先祖様をお迎えする前に

もうすぐお盆。その由来はいったい…!? 1・2ページ

お仏壇のちょっといい話

「俺は死なない」…想いを込めたメッセージ …… 3ページ

あっ！これ見たことある！ 自然の風景に溶け込みます

目屋溪大橋 架橋の親柱 …… 4ページ

毎年恒例

気分すっきり！草刈り作戦！ …… 5ページ

お客様の声 …… 6ページ

**「大切な人に贈りたい」語りつがれる絵本
良きご縁をありがとうございます** …… 7ページ



「涼」を求めて五感をフル活用！



年々気温が上昇し、青森の夏もエアコンなしでは乗り切ることが出来なくなりました。でも、今年の夏は各地で節電が推奨され何となく気が引ける…そんな方もいらっしゃるのではないのでしょうか。（※エアコンは適度に使用しましょう！）

そんな時は五感をフル活用！昔の（失礼）方々に倣って、夏と言えば！の風物詩を取り入れてみませんか？例えば風鈴、すだれ、金魚鉢、他にも打ち水、浴衣、森の香りなどなど。体感温度は下げることが出来ませんが、気持ちや和らぎ何となく「涼」を感じることが出来るかもしれません。

特集 ご先祖様をお迎えする前に

「もうすぐお盆。 その由来はいったい…!?!」



弘前店営業部 寺澤 綾子

こんにちは。弘前店営業部の寺澤です。

8月に入り、青森の夏もこれから秋へ向かおうとしております。季節の変わり目です。風邪など引かずに、元気にご先祖様をお迎えしましょう。

さて今回は、あと数日で迎える「お盆」についてお話しいたします。

そもそも「お盆」って・・・えっ!?!逆さ吊り??

「お盆」という言葉は、正式名称は「盂蘭盆会（うらぼんえ）」と言います。ご存知のように、仏教の発祥はインドですよね。そのインドのサンスクリット語で、ウランバナ（逆さ吊り）を漢字で音写したものです。これが「お盆」に繋がっていきわけです。

でも、逆さ吊りって、お盆にはふさわしくないような感じがしますよね。実は、「逆さまに吊り下げられるような苦しみにあっている人を救う法要」という意味があります。これを知ると、「う～ん、納得!」です。

亡き母親を救った、目連尊者（もくれんそんじゃ）

前述の「逆さ吊り」ですが、お盆の行事はこのお話に由来しております。

お釈迦様の弟子のひとり、目連尊者はある時神通力によって、亡き母が餓鬼道に落ち、逆さ吊りにされて苦しんでいることを知りました。そこで、どうしたら母を救うことが出来るかを、お釈迦様に相談しました。するとお釈迦様は・・・。



「夏の修業が終わった7月15日に僧侶を招き、多くの供物を捧げて供養すれば、母を救うことが出来るであろう」

このように言われました。

目連尊者は、その教えに従ったところ、その功德によって母親は極楽往生がとげられたのです。

それ以来、(旧暦)7月15日は、父母やご先祖様に感謝と供養をつむ、重要な日となりました。

日本人に根付く、供養の心=仏教伝来以前から？



お釈迦様の言葉が由来となったお盆ですが、初めてのお盆の行事は、606年の推古天皇の時代に行われたと伝えられております。また、当時は武家や貴族などの上流階級が中心でした。

しかし民俗学上の話では、実は仏教が伝来する以前から、お盆には各家庭の魂棚(たまだな)にお供え物をし、ご先祖様を供養する行事としてごく当たり前に行われていたと言います。

風習は違っても・・・。

お盆に関連する行事や風習は日本各地でもたくさんあります。京都の大文字焼は有名なところかと思えます。実は青森のねぶた祭も、お盆に関連した行事だそうです。また、各宗派によってもその違いがありますので、確認が必要かもしれませんね。

いずれにしても、日本人の心に根付いているご先祖様を敬う気持ちは同じだと思います。毎日手を合わせるお仏壇、ことあるごとに足を運ぶお墓参り。お盆の間は一層心を込めて拝まれてみてはいかがでしょうか。



お仏壇のちょっといい話

蓮の花に 願いをこめて。



ショールーム課 西村 葉子

こんにちは！ショールーム課の西村です。

今回は、先日インターネットに掲載されておりました、お仏壇に関わる「悲しいけれど、ちょっとほんわか・・・」というお話をお届けしたいと思います。

65歳という若さで、早すぎる死を迎えた夫。いくら注意をしてもタバコも酒もやめませんでした。そんな夫の口癖は「俺は死なない」でした。

夫の死に誰もがショックを受け、自分自身抜け殻のような生活を送りました。そんな私を見かねた娘が、自分の家に迎え入れてくれました。

実家からお仏壇を運び出そうとすると、引き出しにロックがかかっており、4桁の暗証番号が必要でした。いろいろと試してみましたがうまくいきません。そこで鍵屋を呼んで開けてもらいました。その引き出しには、夫が書いた日記があったのです。そこには・・・

「9/13 わが子誕生。2,980グラム。母子ともに健康。よく頑張った」

「3/3 娘の結構式。とうとうこの日が来た。心からおめでとう」

「11/22 銀婚式。これまで本当にありがとう。身体に気を付けて一緒にまた歳を重ねていきましょう」

なんだかまるで天国からのメッセージ。酒もタバコもやめなかった夫は、家族を想うこともやめなかった。

「お父さんってば、こっそりこんなもの書いていたなんて・・・」

娘が目頭を押さえ、私も言葉が出ません。けれど胸にこみ上げる熱いものを確かに感じました。

「お父さん、ありがとう。私がんばるよ」

帰り際、鍵屋さんに暗証番号を尋ねてみると「4771」だと教えてくれました。

・・・まさか・・・死なない？(4771)・・・

私と娘は顔を見合わせて笑いました。あれから一年、「俺は死なない」の言葉通り、夫は今日も私たちの心に生き続けています。



あっ！これ見たことある！
自然の風景に溶け込みます

目屋溪大橋 架橋の親柱



弘前店営業部 伊藤 杏美

こんにちは。弘前店営業部の伊藤です。

みなさんもお存じの、青森県と秋田県にまたがるブナの原生林「白神山地」。世界遺産にも登録されている、雄大で神秘的な山地です。

この白神山地の玄関口に位置しております、西目屋村。ここには数年前に拡張工事が完了した「津軽ダム（旧目屋ダム）」があります。

岩木川の上流にあり、昔から水道用水・農業の灌漑用水・工業用水をつくり、水量を調整しながら下流の沿川地域を洪水の被害から守るという大きな役割を果たしています。

また、新設された津軽ダム発電所において、11,000世帯分の発電を供給できるそうなんです。すごいですよね。

前置きが長くなりましたが、この津軽ダムに行くための道路に立派な橋がありますが、この橋の親柱をやまと石材でお手伝いさせていただきました。

橋の名前は、その名も「目屋溪大橋」です。



こちらの橋に親柱を施行いたしました。



巨大な緑の御影石が、白神山地への道しるべとなっております。大きな橋を渡るとその先には「津軽ダム」もあり、雄大な自然と触れ合う絶好のスポットです。

弊社の担当者のお話では、デザインの打ち合わせを何度も重ね、「よし！これでOK!!」という直前で変更があるなど、この親柱にかける熱意が伝わってきたということでした。

世界遺産に通ずる道とあって、自然に囲まれ、一年を通して癒しを与えてくれるスポットです。ぜひ皆さんもドライブを兼ねてこの親柱を見にいらして頂きたいと思います。

毎年恒例

気分すっきり！ 草刈り作戦！



青森店営業部 宮崎 陽

こんにちは。青森店営業部の宮崎です。今回は、毎年恒例の「気分すっきり！草刈り作戦！」についてお届けいたします。

時は6月、社屋の周りには私のおなか周りと同じくらいすくすくと成長した草が生い茂ってまいりました。

「そろそろやるか！」という店長の一言で、草刈り部隊が集結し、いざ出陣！店長自らワイシャツを腕まくりし、草刈り機を片手に颯爽と登場です。

私が思うに、草刈り機がこんなにも似合う男は他にいないのでは？(笑)。わき目も降らず、一心不乱に草を刈り取っていきます。

一方の私はというと・・・完全武装で頑張りました！草刈りに対する意気込みをお感じ下さいませ？

もちろん営業部総出で行い、スタートから2時間！刈り取った成果は全部で特大袋が10袋です。ビックリの量でした。

大量のごみ袋と同じように大量の汗をかき、おかげさまでダイエットにもつながったと思います。私のおなかもスッキリ！？



慣れた手つきで黙々と作業をこなす、店長の三浦です。



ダイエットスーツ！？いえいえ普通の作業着ですよ (by宮崎)。



事務所の脇に積み上げられたごみ袋！お見事！

お客様の声

やまと石材に大切なお墓づくりを託していただいたお客様からのおたよりです。本当にありがとうございました。

家族全員、良いお墓が出来たと喜んでおります

青森市・K様

墓の草取りに年4回していました。年々体に負担が来て母の死去で建て替えることにしました。
 すぐカタログを持参していただき、サンプル見学等セールス様の迅速な対応に感謝しています。
 家族全員で完成した墓を見に行き、良い墓が出来たと喜んでおります。本当にありがとうございました。



ビフォー
■ Before

お石塔廻りは玉砂利が敷かれておりますが、「草が生えてきて大変」という悩みがありました。



アフター
■ After

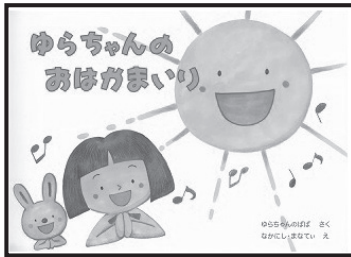
落ち着いたある青御影石でお造りいただきました。長年の悩みでもありました草取りも、敷石仕上げによって解決です。土台の両側にはご家族の方々が墓参りに行かれたときにゆっくりくつろげるベンチもあしらっております。

担当者からひとこと

K様、この度は誠にありがとうございました。古くなってきたお墓を建替えていただいたわけですが、亡くなられたお母様も安心しておられるかと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。



青森店営業部 三浦 淳



「大切な人に贈りたい」 いつまでも語りつがれる絵本

「ゆらちゃんのおはかまいり」

ゆらちゃんのパパ/文 なかにし・まなてい/イラスト

幼いゆらちゃんとゆらちゃんの家族をとおしてお墓参りの意義や大切さを解りやすく伝えてくれる絵本です。

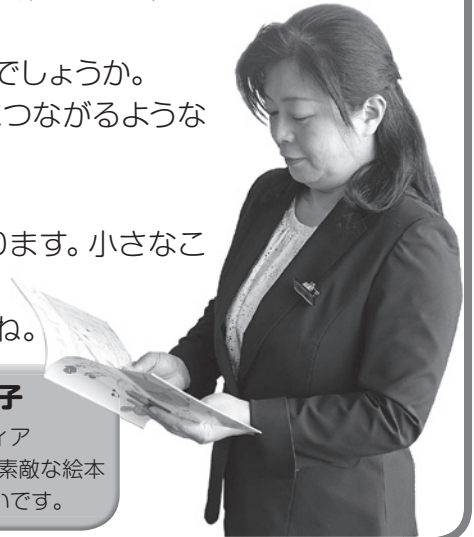
かわいくユーモラスなイラストは見る人の心を和ませてくれるのではないのでしょうか。亡くなった人を大切に思う気持ちが、自分や周りの人を大切にする気持ちにつながるようなステキな絵本です。

お盆になると当たり前のようにお墓に行き、ご先祖様に手を合わせております。小さなころから今に至るまで、この風習は変わりません。日本人の心の中には、ご先祖様(亡くなられた方)を敬う気持ちが子々孫々と受け継がれているのですね。

お墓の前ではご先祖様に声をかけ、語りかけたりお願い事をしたり、時には悩み事を打ち明けたり・・・しっかり聴いてくれていると感じます。心が落ち着く瞬間です。

ショールーム課・佐藤江里子

絵本の読み聞かせボランティアを続けて10数年。心に響く素敵な絵本を少しでも紹介できれば幸いです。



良きご縁をありがとうございます

下北郡東通村野牛	南津軽郡大鰐町蔵館	神奈川県横浜市旭区二俣川	宮城県仙台市若林区若林	弘前市独狐	十和田市ひがしの	黒石市浅瀬石	北津軽郡板柳町板柳	上北郡六ヶ所村平沼	青森市里見	弘前市泉野	南津軽郡田舎館村東光寺	弘前市城東中央	南津軽郡藤崎町藤崎	平川市新館	平川市新館	弘前市川先	十和田市西二十一番町	東津軽郡平内町小湊	東京都北区滝野川
氣仙様	澤田様	柿崎様	珍田様	成田様	佐伯様	森様	工藤様	村松様	米田様	今様	中山様	木村様	佐藤様	對馬様	中田様	村元様	古谷様	工藤様	三上様

※今月号で紹介しきれなかったお客様は、また次の機会に掲載いたします。

Landwork 日本最大36店舗の
ランドワークグループ 墓石専門店グループ

墓石と仏壇
やまと石材

【青森本店】〒030-0946 青森市古館1-13-13
TEL. 017-744-1488 FAX. 017-765-1388

【弘前店】〒036-8076 弘前市境関1-1-1
TEL. 0172-27-1455 FAX. 0172-27-1492

E-mail info@yamatosekizai.com

友達募集、今すぐ登録!



青森 やまと石材 検索

編集後記

今年はいよいよねぶた祭再開です！青森の夏はやっぱりこれですよね。ちなみに個人的には、祭りの前のどこからともなく聞こえてくるお囃子の音や、棧敷席が出来ていくザワザワ感が好きです。
(佐々木)